

第59回 子どもの学びを創る会の感想

川上先生の講演の中に、授業UDのしかけや要素がちりばめられていて、どんどん引き込まれました。理論と経験から語られる内容に納得しました。

発達につまずきのある子をどのように見とるか、その子の気持ちや特性、支援のポイントなどを具体的に分かりやすく学ぶことができました。

特に、「切り替え」言葉やトラブルの再録法、気持ちを吹き出しに書いて代弁するなどは、通常学級の気になる子に効果があると思います。明日からでも実践したいです。

中村先生の事例検討を通して、信頼関係が土台にあることを改めて学ぶことができました。教師がその子に寄り添い、理解し、共感する。その上で、より善い行動を示し教えることが重要だと学びました。

川上先生も中村先生も、深い子ども理解とその子にフィットした指導が実践できるプロ教師です。自分も少しでもプロ教師に近づけるように、眼前の子どもから学び、教師としての引き出しを増やし続けたいです。ありがとうございました。(市内)

先日はありがとうございました。

子どもへの支援をしているつもりでしたが、実は自己満足で終わっていることに改めて気づかされました。

もっと早く今回のような研修を受けていたならば、今まで関わってきた子どもたちのことをもっと理解し、適切な支援ができていたかもしれないと思い、帰りの車中でも頭の中を子どもたちの顔が浮かんでいました。

特に、昨年度担任した「反抗挑戦性障害」と診断されて入学した中1の生徒のことです。中1ということで、ずいぶん落ち着いた生活を送れるような段階ではありましたが、入学当初は新しい環境に慣れようと必死にもがいていたことを思い出しました。おそらく、幼いころはもっと苦しんでいたのだと思いますが、この生徒は小学校の担任の先生や周囲の恵まれた環境により、中学部入学後はクラスのリーダーとして成長しつつあります。

今回の事例発表されたAくんも中村先生との出会いをきっかけに、きっと周りの人たちとのより良い関係ができることでしょう。

近々、校内でケース会議が行われます。わたしも事例を出す予定にしています。先日のような検討会にすることはできませんが、先生方からたくさんのアイデアをいただき、子どもの支援に生かしたいと思っています。

元氣と勇氣(…時々後悔)が出る研修会でした。ありがとうございました。(県内)

今日は、大変お世話になりました。

熱心に取り組まれる先生方と、参加された方の意欲を感じました。

川上先生のお話ということもあって、県内外から多数参加されたようですね。一緒に参加した2人も、とても勉強になったと言っておりました。

企画運営、そして謝辞まで・・・本当にお疲れ様でした。

今回は何と言っても、中村先生の実践に頭が下がりました。28人のクラスの中での実践での話ですからね。

その中での取組ということで、スモールステップで積み上げられてきたのだということがわかりました。

年度当初は、私たちもよく体育館でAくんに出会ったものです。でも、今では全くとっていい

ほど見かけなくなりました。その理由もしっかりわかりました。

今日のように、気になる子どもにターゲットを当てて、それをみんなで話し合うということは、とてもいいですね。

中村先生は自分で答えをある程度出していらっしやいましたが、みんなで子どもの「事実」と向き合って、支援方法を考えていくというのは、日々のケース会議でも有りだと思いました。

今日の中村先生の実践が、中村先生だけのものにならず、深川小の先生みんなで共有できたら、まずは3年生全体でも共有できたらいいだろうなと思いました。

川上先生の適切なピンポイントの助言があったことで、今日はさらにいろんなことを学べたと思います。

これは、分教室の子どもたちにも当てはまることがありましたし「自信をもつ」ということは、全ての子どもに必要なことだと思うので、その辺りも大事にしていきたいと思いました。

今日は結局、事例を通しての話からの広がりで終わってしまいましたが、やっぱり、後半の資料の話も聴きたかったな、と思いました。こういう話は、時間が足りなくなってしまうですね(´_`;) 今日の話をお聞きして、自分たちもまた、子どもの行動について見極めながら考えていきたいと思いました。

今日は本当にありがとうございました。

川上先生のプレゼンの書き取りができなかった部分は、先生も良いと言われたので、写真を撮らせていただきました。それではまた、来週からもよろしくお願いします。(市内)

ケーススタディを経験できたことは大変よかったです。今後、校内での委員会で役立てたいと思います。中村先生の実践が大変参考になりました。ありがとうございました。(市外)

本当に「目からうろこ」の内容ですごかった。県は教科担任制とか交換担任制とかを進めているが、いかななものかという気持ちになった。(市外)

具体的な事例をもとに支援の仕方を学ぶことができた。自分の学級でも一人一人の子どもに向き合い、子どものことを考えて事情をもって接していきたいと感じた。いろいろなことを知り引出しを増やすことは大切と感じたので勉強したいと思った。ありがとうございました。(市内)

大変勉強になりました。中村先生の思いと具体的な支援に感動しました。川上先生のお話も私のクラスのぴったりのことばかりでした。本当にありがとうございました。(市外)

大変勉強になりました。事例提供もつまずきや支援の仕方はこれからしっかり実践していきたいと思います。また、子どもを好きになるという意味を改めて実感させられました。(市外)
貴重な話をありがとうございました。月曜日から自分のクラスの気になる子への支援に活かしたいと思いました。(市外)

いつもありがとうございます。今日も充実した時間を過ごすことができました。今まで特別支援の世界にいましたが、今年度より通常学級の担任をしています。つまずきのある子を輝かせたい！そのヒントと明日からの活力をもらいました。本当にありがとうございました。これからもよろしくお願いします。(県外)

今日は初めて、自主的に研修会に参加しました。子どもの見えている姿は氷山の一角であり、そのつまずき等を見ていく時に本日の研修会をいかしていきたいと思います。ありがとうございました。

した。(市外)

まずは、中村先生のご実践のすばらしさ、それを支える愛情の深さと絶え間ないご努力と学び続けておられること、たくさんの方を学ばせていただきました。特に細かくカードを使って成長の過程を見取りながら、繰り返し継続して指導を続けておられたこと、指導と支援で心がけることを明確にしておられたことです。私も今一度自分の実践を見直し月曜日から取り組んでいきたいと思います。

川上先生の豊富な知見に支えられた分析力と言葉の一つ一つに納得の3時間あまりでした。子どもの表面の見える事実から見えにくい背景をしっかりと読み解くことができる力をつけることができるように学んでいきたと思います。ありがとうございました。(市外)

中村先生、すばらしいです!!これだけのプラン手立てを実行することもでき、学級の子への愛情もたっぷりあるという、教師としてあこがれます。「参りました！」これしかありません。なんらかの手立ては必ずある・・・そう思わずにはられません。毎回毎回勉強になります。ありがとうございました。(県外)

基礎的なことを含めて、ケーススタディを通して学ぶことができて、とても有意義だった。2月も参加させてもらえればと思います。

学級担任ではなくなりましたが、学びに来ました。教員を目指す学生に対して学ぶべき点、方向性を把握させないといけないと思っています。経験だけでなく専門性を高めていくことの重要性を改めて感じました。子どものかかわり、子どもと子どもをつなぐことに悩みを抱える学生、若手教員に「特別支援教育」の視点をもって学んでほしいと思います。いつも深い学びの機会をいただきありがとうございます。(市外)

中村玲子先生の教師魂と手立てのすばらしさに感銘をうけた。川上先生の具体的な手立てなども参考になった。

とても参考になるケーススタディでした。ありがとうございました。現在、支援を必要とする児がたくさんいます。今日の川上先生のお話を聞いて納得する点、今やっていることだと安心する点、試してみたいと思う点がありました。これからの支援に生かしていきたいと思います。(市外)

Aくんの事例をもとに解決方法などを交流することができました。WISCの項目やコンサータなどの専門的な知識も増えました。ありがとうございました。(市外)

実際の事例をもとに、具体的な支援の方法をわかりやすく、かつ専門的に教えていただき大変参考になりました。

中村先生のご実践もすばらしい!! 私も頑張らなくては!と改めて思いました。ありがとうございました。(市外)

現在、担任している学級のA君について、状態、方法、経過を自分で考えてみたいと思いました。(市外)

今回も大変勉強になりました。特にケーススタディという研修方式は、今までの自分の実践を振り返る考え方や対応の仕方を事例から導き出していく大切さを改めて学ぶことができました。


実は私も昨年A君と全く(ほぼ)同じような児童の担任となり、中村先生の苦勞が自分のことと

して思い出され、懐かしく感じました。今年も担任したい！と思っていたのですが転勤…。心残りです。

川上先生から専門知識、中村先生から教師としての人としての優しさ、そして覚悟を教わり、今日一日、とても充実していました。ありがとうございました。(市外)

中村先生の学級づくりのすばらしさがよく分かりました。今日、A君のケーススタディを通し、多くのことを学ぶことができました。

これからの教育実践に役立てさせていただきます。研修会に参加してよかったです。ありがとうございました。川上康則先生の本も読んでみたいと思います。(市内)

とても分かりやすい研修で、すばらかった。時系列は今までもしていましたが、やはりUD、書いて視覚化、ふりかえり  こうしようなど、やってみます。ありがとうございました。(市外)

中村先生の実践は、校内に広めたいと思いました。具体的で本当にそうだと思うことばかりでした。それを引き出すスーパーバイザーの川上先生の話もよかったです。(市内)

具体的な事例をもとにした研修で大変わかりやすく参考になりました。いろいろな子どもがいますが、どの子どもも大事な子どもです。一人ひとりを大切にできる教師でありたいと改めて思いました。

中村先生のご苦勞、拍手です。先生がご苦勞された分、Aくんの幸せや成長につながっていると思います。(市内)

Aさんの事例をもとにとっても分かりやすく、本当にあっという間に時間が過ぎていきました。Aさんのような子は学校に1人はいるなと思い、その子を思いうかべながら話を聞きました。WISCについて、詳しく話を聞かせてもらい、結果で見るところを知ることができました。子どもと接するときを気を付けようと思うことがたくさん出てきました。一人ひとりに合う対応を、支援をしていきたいと思います。ありがとうございました。(市外)

ケーススタディ中心でお話をいただいたことは、自分の学校の生徒の事例とも重なるところもあり、大変勉強になりました。温かい学級経営をされているからこそ、A君への効果的な指導が実を結んでいるんだなと思います。

また機会がありましたら、具体的支援方法(授業において)スキルを学びたいなと感じました。ありがとうございました。(市内 中学校)

通常学級にける中村先生の実践、そしてその後の経過や様子を聞くことができ、とても参考になりました。今日の中村先生の話、川上先生の話ヒントにして明日から自分も仕事をしていきたいと思いました。本当にありがとうございました。(市内 中学校)

A君の事例をもとに、様々な事を知ることができました。自分の学級に中にいる一番手のかかる子の事を思い浮かべながら聞いていました。「時系列黒板」やってみようと思います。また川上先生の様々な考え方の中で、「怒りのコントロール」を子どもにつたえてみようと思います。ありがとうございました。(市外)

ケーススタディが中心でとても良かったです。他の参加者の方とアセスメントや支援の方法をともに考えることで「引出し」が増えたように思います。(市外)

具体的な事例で、とても参考になりました。自分のクラスにも、なかなか教室に入れない子どもがいるので、たくさん参考にしたいなと思うところがありました。川上先生のお話のブレーキをかけるスキルを教えることや中村先生のA君に対する思いやいろいろな支援ツールなどを是非参考にして、自分もその子のためにできることをやろうと思います。ありがとうございました。(市内)

ODDやADHDの子が私の勤務校には多くいます。日々、様々な症状を抱える生徒への対応、指導に努めていますが、講話を終え自分の指導にツールが増えました。また子どもへの観点をより多く持てました。さっそく実践しようと思います。(市内 中学校)

素晴らしい研修会でした、また川上先生のお会いしたいです。中村先生、本当によくがんばってらっしゃいますね。尊敬します。(市内)

子どもの実態に即し、支援がなされた発表でした。それを続けることの大切さをじっかんしました。川上先生の話は子どもの理解と支援についてたくさんの示唆をいただきました。学び続けなければならないと心に刻みました。(県外)

今日は川上先生、中村先生、関係の先生方ありがとうございました。具体的な事例を挙げていただき、より迫る研修会だったと思います。

中村先生の取組、記録、そしてA君へかける愛情(覚悟)をひしひし感じました。川上先生によるご説明で自分のあいまいな部分が整理され、次に何をすべきかが見えてきたように思います。学校に戻って他の先生方に伝えます。ありがとうございました。(市外)

昨年度に引き続き、川上先生のお話をとても楽しみにしていました。とても分かりやすく何をどうしていけばよいのか、どのようにしていけばよいのか、どのように考えればよいのかと具体的に学ぶことができました。目の前の子ども達に何ができるのか悩み毎日ですが、まだまだやれることがある!!と希望がもてました。

また中村先生の熱意、温かさのある指導、きめ細やかな支援、それによって変わっていくA君の実践も大変勉強になりました。本当にありがとうございました。(市外)

校内委員会がこのようにもてるといいなとつくづく思った。担任一人ががんばり過ぎないように学校全体で考える組織づくりが目標です。せめて苦勞している担任には寄り添いたいし、苦勞をねぎらいたい。現場は本当に指導が困難な児童が多く担任の先生方とどう対策をねるか思案中のなかとても参考になりました。子どもを見る視点が変わりました。ありがとうございました。(市外)

具体的な実践例があり、今後の実践の役立てるために参考になりました。支援の必要な子どもがたくさんいる中での支援のための手立てを活用していきたいと思います。一人で悩むのではなく、いろんな人と交流できる場があるのもありがたいことでした。またこのような研修会があれば参加したいです。(市外)

川上先生のお話、大変勉強になりました。普通学級の担任をしていますが、生かせることがたく

さんありそうです。中村先生の熱心さには感動するくらいビックリしています。私のクラスにも同じ状況のような子がいます。まずは好きになること、クラスみんなが支える学級づくりをしていきたいなと思いました。(市外)

大変有意義な研修会に参加させていただき、本当にありがとうございました。Aくんのケーススタディを通して、困難な課題に直面しているお子さんをどう育て導いていくかという難しい問題に取り組んでおられる先生の実践に触れることができ、またそれを大勢で共有して考えること、川上先生が示される方向性やアドバイスに接すること、全てが貴重な3時間でした。これから今日の内容をゆっくり消化して、また自分の仕事に生かしていきたいと思います。

私は本校に子どもを通わせている保護者でもあります。中村先生の血のにじむような情熱のこもった指導の様子や同じテーブルで隣り合わせの本校の先生方の「学校生活で他の先生ともAくんが信頼関係をもてるようにしていくことが大事」というお話を聞いて、この学校に子どもが通っていることをとてもうれしく感じました。(市内 中学校)

特学担当で日々苦戦中です。中村先生の腰を据えた取組み、計画を立て、絶対に負けないの心構え、私にはきめ細かい所も、負けない精神もずい分足りないとわかりました。川上先生のアドバイスもさーっと頭に入ったと思いますが、すぐに消える記憶力を本で補おうと思います。その子を好きになって、目標を立て、どう目標に近づくか方法も考えなおさなくてはと思うところです。悪い行動にうちのめされる日々でやらなくてはと反省しています。(市外)

本日は、ありがとうございました。大変すばらしい参考になる実践でした。児童との信頼関係、児童の特性等の実態把握、特性等を踏まえた取組、これらのことが的確であったのだと思います。児童は、あいまいが苦手。はっきりとした態度が逆にわかりやすい先生、信頼できる先生になったと思います。絶対に成功に導くという先生の取組が児童の成功イメージを築き上げたと思います

また、この事例と講義を結び付けたケーススタディといった研究会のもち方、とても参考になりました。川上先生の講義は、もちろん大変勉強になりました。

ありがとうございました。(県外)

本日は、ありがとうございました。ケーススタディ、大変参考になりました。特別支援学校での例ですが、似たようなケースを担当したことがあります。今日の話聞き、そのときの取組が整理され自分の中で理論化されたように思います。

川上先生の助言が大変分かり易く、今後の取組に活かせるポイントが多くありました。とてもよい学びの機会となりました。ありがとうございました。(県外)

中村先生の事例は、感動で胸が熱くなりました。先生のこれまでのご経験、特に特別支援学級での失敗と有効の経験から紡ぎ出された支援をAくんにも使えるのではとの予想のもと取り組まれたと聞きました。

Aくんに対して、シンプルな支援、それを徹底する気構え、そして彼への深い愛情で厳しくもあり優しい眼差しでAくんを指導されたように思います。しかし、学級の中で特別扱いをされるのではなく、彼に納得をさせながら、他の子供とともに学級経営をされたのが大きな成長になったのではと思っています。

川上先生は、常に我々に大変分かり易くお話をされ、中村先生との時間を含め、3時間半があったという間でした。

やはり、事実から紡ぎ出されたものは説得力や迫力が違います。教科教育と特別支援教育がますます融合され、気になる子への支援や配慮は当然のこととなる日を期待しています。(市内)

川上康則先生から感想をいただきました。(Facebook から)

山口県長門市で行われた「子どもの学びを創る会」(日本授業UD学会中国支部)の第59回定例会にお招きいただきました。この秋、2回目の山口県です。

ケーススタディの事例がとても深く、担任の先生の実践も大変興味深いもの(特別支援学級でしっかりと実践を積まれた、通常学級担任。)でしたので、講話の大部分をすっ飛ばして、3時間半をケースから学ぶ場に費やしました。参加された皆さんの理解度を確認しながら、見えなかったものが少しずつ見えてくるように進めました。

代表の芝田秀樹先生をはじめ、事務局の先生方に大変お世話になりました。ありがとうございました。

事例発表の中村先生からも感想をいただきました。

今回、事例提供をさせていただく中で、自分がしてきたことを整理し、客観的に見つめ直すことができました。また、色々な方のご意見をいただくことで、より多角的に取り組みを見ることができたり、自分の全く思いが及ばなかった点を教えていただいたりすることができました。

すぐに実践してみたいことが、2点あります。「作戦ゴリラ」と「まあ、いいか。いいや。」を教えることです。こう言える、行動できる力がA君には必要です。(私にも)

本当に、実り多い研修でした。たくさんのことを教えていただき、どうもありがとうございました。

追記：実は、早速、作戦ゴリラを教えました。A君に個人的にではなく、クラス全体です。理由は、3点。

- ①「自分だけ、ひいき」なら喜ぶけれど、「自分だけ、何か要求される。」と怒るA君には合っているかな……。と思ったから。
- ②そろそろ出てくる、女子の感じの悪いトラブルにも、使えそうだったから。
- ③人権教育の取り組みで、道徳の授業で「友達のこと」をしたが、最後の講話にピッタリだったから。

「みんなも、まるちゃんとたまちゃん(物語の主人公)みたいに、なってしまうことがありますか?そんな時に、とてもいい作戦があるんです。」と、紹介しました。大盛り上がり。「まあ、いいか。」と、「いいや。」もつけ足したところ、

A君が、「それなら、3年3組は、『作戦ゴリラ、今!』にしたらいい!」と言いました。みんなも、「それがいい。」と賛成。

「ごめん」「理由を言う」「ラッキーな提案をする(相手に)」「いいや。と思う」「まあ、いいか。と思う癖をつける。」の頭文字です。

でも、その翌日、友達に怒っていたので、本当にA君のものになるには、まだまだです。でも、

話し続ければ、いつか、怒る前に「ゴリラ、今！」ができる日がくると思います。

また、何より、A 君以外の子供にも、すぐに役立つことなので、これから成長して、対人関係の壁にぶつかるであろう全ての子供にとって、うまくいく秘訣の一つを教えてあげられたと思います。

本当に、よい研修をさせていただきました。

どうも、ありがとうございました。